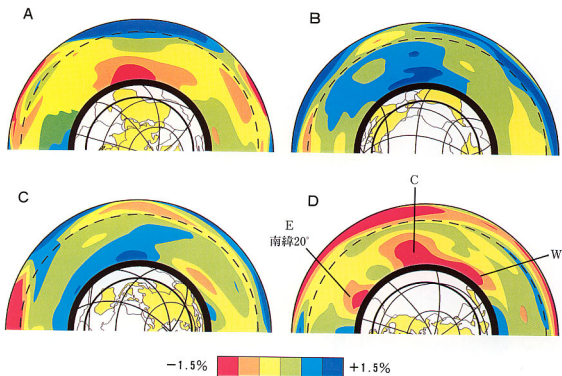
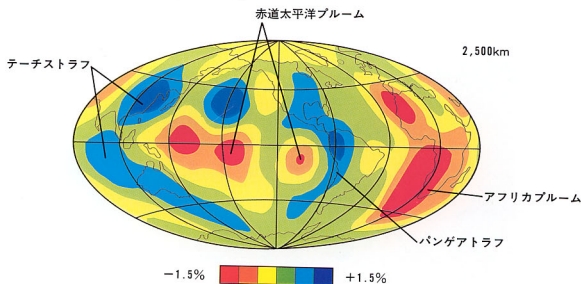


地球深部の運動像をめぐる研究動向（その1）

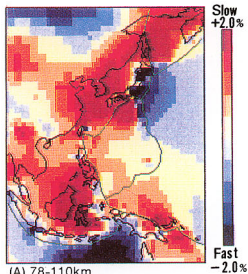
（詳しくは本文 7-17 頁参照）〈応用地質 南雲昭三郎〉



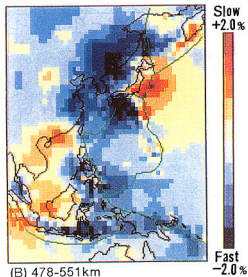
1. Dziewonski らのサイズミック S 波トモグラフィ画像改訂版の一例。A) 大アフリカプルーム断面、B) バンゲアトラフ、C) テーチストラフ、D) 赤道太平洋プルーム断面、モデルはSH8/WM13 (Dziewonski et al., 1993, Figure 13 より)。



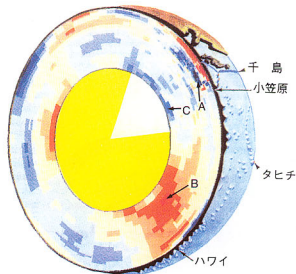
2. 深度 2500 km の球面上の S 波速度異常分布のテクトニクスの名称 (Dziewonski et al., 1993, Figure 11 の (g) より)



(A) 78-110km



(B) 478-551km



3. (上) Fukao (1992) による全マントルP波トモグラフィ画像の一例。太平洋を北西-南東方向に切る(小笠原からタヒチを通る)大円断面。A) 沈み込みスラブに対する高速度領域、B) コアマントル境界から立ち上がる熱ブルームに対応する低速度異常領域、C) 下部マントルの下降流に対応する高速度領域。

4. (左) Fukao and Obayashi (1992) による西太平洋西縁・東アジア東縁の上部マントルのP波速度異常分布の一例。A) 深度78-110 km、B) 深度478-551 km。

5. (下) Anderson et al. (1992) による上部マントルのS波速度異常分布の一例。深度110 kmにおけるグローバルな水平断面。青：高速度、赤：低速度。異常の範囲： $\pm 4.5\%$ 。

110km

